

京都市の夜間人口と昼間人口 — 国勢調査でわかること（その2） —

「国勢調査でわかること」の2回目は、ふだん住んでいる場所でみた常住人口（＝夜間人口）と、従業地・通学地からみた人口（＝昼間人口）について紹介します。

1 従業地と通学地

国勢調査の調査項目の中には、「従業地又は通学地」という項目があります。これは、国勢調査では、「京都市には何人住んでいるのか？」ということだけではなく、「京都市に住んでいる人は、どこへ通勤・通学しているのか？」ということも調べているのです。また、反対に、「京都市以外の市区町村から、京都市内には何人通勤・通学してくるのか？」ということもわかります。

2 京都市民の通勤・通学先

では、京都市内に住む人は、どこへ通勤（自宅での従業を含む）・通学しているのでしょうか。平成17年国勢調査結果から調べてみます。

表-1及び2をみると、京都市に常住する15歳以上の就業者、通学者のうち、それぞれ85%を超える人が京都市内で従業、又は京都市内に通学していることがわかります。また、第2位は、従業地、通学地とも企業や学校の多い大阪市ですが、第3位以下をみると、従業地では、京都市に隣接した宇治市、大津市、長岡京市と続く一方、通学地では大学のキャンパスが立地する京田辺市、草津市、宇治市などが続いています。

表-1 京都市に常住する従業地別15歳以上就業者数

順位	従業地	就業者数(人)	割合(%)
1	京都市	586,048	85.1
2	大阪市	26,306	3.8
3	京都府宇治市	10,989	1.6
4	滋賀県大津市	7,260	1.1
5	京都府長岡京市	7,210	1.0
6	京都府久世郡久御山町	4,627	0.7
7	京都府向日市	4,417	0.6
8	京都府亀岡市	3,100	0.5
9	滋賀県草津市	3,000	0.4
10	大阪府高槻市	2,780	0.4

(参考) 京都市に常住する
15歳以上就業者総数(人) 688,268

表-2 京都市に常住する通学地別15歳以上通学者数

順位	通学地	通学者数(人)	割合(%)
1	京都市	89,768	85.4
2	大阪市	1,837	1.7
3	京都府京田辺市	1,630	1.5
4	滋賀県草津市	1,213	1.2
5	京都府宇治市	1,195	1.1
6	滋賀県大津市	922	0.9
7	大阪府吹田市	868	0.8
8	京都府亀岡市	685	0.7
9	大阪府枚方市	539	0.5
10	大阪府高槻市	523	0.5

(参考) 京都市に常住する
15歳以上通学者総数(人) 105,176

3 京都市への通勤・通学者数

では、反対に、京都市に通勤・通学してくる人はどこに住んでいるのでしょうか。

次ページ表-3をみると、京都市で従業する15歳以上の就業者の中では、京都市内に常住する人が4分の3を占めています。続いて、京都市に隣接した宇治市、大津市、亀岡市、向日市などからの通勤者が多くなっています。

また、表-4をみると、京都市に通学する15歳以上の通学者の中では、京都市内に常住する人が6割以上で最も多くなっています。以下、大津市、大阪市、宇治市、枚方市など、通勤の場合よりも比較的遠方からの通学が目立ちます。



国勢調査は みんなで描く 日本の自画像
(平成22年国勢調査標語)

平成22年10月1日、国勢調査を実施します！

- 国勢調査は、日本に住んでいるすべての人及び世帯が対象です。
- 平成22年国勢調査は、我が国が本格的な人口減少社会となって実施する最初の国勢調査で、日本の未来を考えるために欠くことのできない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。
- 調査結果は、さまざまな法令で使われるほか、社会福祉、雇用対策、生活環境の整備など、私たちの暮らしのために役立てられます。

国勢調査についての情報は、「京都市の統計情報 (Statistics Kyoto City)」のトップページからご覧いただけます。
<http://www.city.kyoto.jp/sogo/toukei/>

京都市の昼夜間人口比率は？

～平成17年国勢調査結果から～

順位	都 市	昼夜間人口比率
1	大阪市	138.0
2	東京都区部	135.1
3	名古屋市	114.7
4	福岡市	113.4
5	京都市	108.4
6	仙台市	107.7
:	:	:
14	横浜市	90.4
15	川崎市	87.1

〔対象：平成17年10月1日現在の政令指定
都市及び東京都区部の15大都市〕

表－3 京都市で従業する常住地別15歳以上就業者数

順位	常住地	就業者数(人)	割合(%)
1	京都市	586,048	76.4
2	京都府宇治市	27,123	3.5
3	滋賀県大津市	23,173	3.0
4	京都府亀岡市	11,710	1.5
5	京都府向日市	11,609	1.5
6	京都府長岡京市	11,121	1.5
7	京都府城陽市	9,152	1.2
8	大阪府高槻市	7,637	1.0
9	大阪府枚方市	6,876	0.9
10	大阪市	5,732	0.7

(参考) 京都市で従業する
15歳以上就業者総数(人) 766,630

表－4 京都市に通学する常住地別15歳以上通学者数

順位	常住地	通学者数(人)	割合(%)
1	京都市	89,768	61.6
2	滋賀県大津市	3,893	2.7
3	大阪市	3,563	2.4
4	京都府宇治市	3,187	2.2
5	大阪府枚方市	2,730	1.9
6	大阪府高槻市	2,257	1.5
7	京都府亀岡市	2,245	1.5
8	奈良県奈良市	2,024	1.4
9	京都府長岡京市	1,381	0.9
10	大阪府茨木市	1,344	0.9

(参考) 京都市に通学する
15歳以上通学者総数(人) 145,834

4 京都市の夜間人口及び昼間人口

これまで「京都市に常住する人」という表現を用いてきましたが、通常「京都市の人口」といった場合は、この「常住人口」のことをいいます。また、「常住人口」は、人が夜間に寝泊りする場所での人口となるので、「夜間人口」ともいいます。この夜間人口に、これまで述べた通勤・通学による増減を加味した人口を「昼間人口」と呼んでいます。つまり、式で表すと、

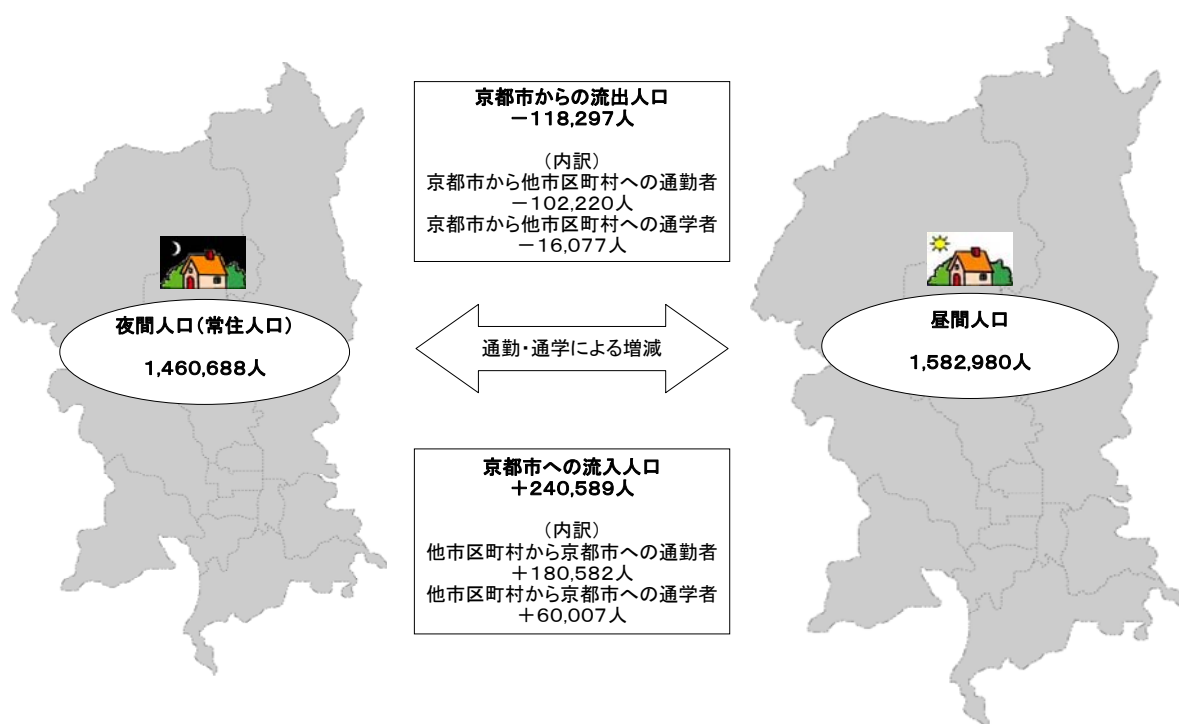
$$\text{京都市の昼間人口} = \text{京都市の常住人口} - \text{京都市から他市区町村へ通勤・通学している人口(流出人口)} + \text{他市区町村から京都市へ通勤・通学している人口(流入人口)}$$

となります。

平成17年国勢調査結果では、図－1のとおり、京都市の夜間人口1,460,688人に対し、昼間人口は約12万人多い1,582,980人となっています(いずれも年齢不詳を除く)。また、常住人口100人当たりの昼間人口の割合(昼夜間人口比率)は108.4となります。

なお、昼間人口は夜間人口と同じく、交通、防災や都市整備など、まちづくりを推進していくうえで重要な指標となっています。

図－1 京都市の夜間人口と昼間人口



(注1) 各人口は、年齢不詳の人口を除きます。

(注2) 京都市から他市区町村への通学者及び他市区町村から京都市への通学者には、15歳以下の通学者も含まれます。